

## 1人当たりの府民所得

都道府県の所得水準を比較するときによく使われるのが、1人当たりの府民所得です。

府民所得とは、府民雇用者報酬・財産所得・企業所得を合計したもので、それを府の総人口(該当年の10月1日現在の総務省推計人口)で割ったものが1人当たりの府民所得です。

平成19年度の各都道府県の推計・公表結果をとりまとめた「平成19年度県民経済計算(全国版)」が平成22年2月19日に内閣府より公表されました。

それによると表1のとおり、1人当たり県民所得では、京都府は299万3千円で全国順位13位の結果となりました。

1位は、東京都が454万円で他県を相当上回っています。2位は愛知県、3位は静岡県と続きます。1位から3位までの順位は6年連続同じです。近畿府県での上位は、滋賀県が6位で313万8千円となっています。

一方、順位が低い県をみると、最下位から沖縄県、高知県、宮崎県となります。所得額については1位東京都の半分以下の額となっています。

1人当たりの府民所得は、私たち個人の所得水準を表すものではなく、企業の利潤なども含む、府民経済全体の水準を表しているものであり、府民の生活の豊かさや経済状況を反映しています。

参考として、府民所得のうち1人当たりの府民雇用者報酬については表2のとおりで、京都府は11位です。 表1と比べると上位ランクの都道府県は必ずしも一致しません。京都府については、表1・表2の両面からア プローチしても順位には大差がなく、府民の経済面での豊かさが安定している表れといえます。

表1 1人当たり県民所得 (平成19年度)□

	(1)(1)(1)(1)		
順位	都道府県	1人当たり 県民所得	
		円	
1	東京都	454万	
2	愛 知 県	358万8千	
3	静岡県	338万4千	
4	神奈川県	328万4千	
5	三 重 県	322万9千	
6	滋賀県	313万8千	
7	大 阪 府	310万7千	
8	栃木県	310万5千	
9	富山県	308万8千	
10	広島県	305万9千	
11	千 葉 県	301万	
12	茨 城 県	300万7千	
13	京都府	299万3千	
14	山口県	298万2千	
15	埼玉県	297万3千	
	~		
	~		
43	鹿児島県	235万3千	
44	長 崎 県	219万1千	
45	宮崎県	215万2千	
46	高知県	211万4千	
47	沖縄県	204万9千	

内閣府:「平成19年度県民経済計算」より□

表2 1人当たり県民雇用者報酬 (平成19年度) 🗆

順位	都道府県	1人当たり県民 雇用者報酬
		円
1	東京都	638万3千
2	大 阪 府	569万6千
3	神奈川県	543万7千
4	奈 良 県	530万4千
5	埼 玉 県	502万6千
6	愛知県	497万3千
7	兵庫県	494万1千
8	広島県	485万
9	千 葉 県	476万
10	富山県	475万2千
11	京都府	471万6千
12	群馬県	470万9千
13	三 重 県	470万
14	長 野 県	466万5千
15	香川県	464万7千
	~	
	~	
43	岩 手 県	385万1千
44	長 崎 県	381万8千
45	宮崎県	379万7千
46	沖縄県	374万4千
47	秋田県	351万7千